



学校だより
われら

発行年月日
平成20年6月24日
(NO. 3) 六月号

渋谷区立松濤中学校

SHOTO Junior High School

TEL(3 4 6 9) 2 4 5 1 ・ 2 4 5 2

<http://academic1.plala.or.jp/shoto/>

【教育目標】 ○みんなを愛する生徒 ○自ら学び考える生徒 ○生き生きと活動する生徒



三年生がリードした 地域との合同運動会

校長 鈴木富樹

期待に応えた三年生

地域や保護者の皆さんに感謝!

新年度が始まり、2ヶ月以上経ちましたがその間に、学年毎に様々な行事がありました。

1年生は、ボツワナ共和国の方々との交流を心から楽しみ、富山移動教室では寝食を共にすることで友情を育みました。2年生は、校外学習で「江戸」を探しに東京巡りを行い、班別学習の方法や協力の大切さについて成果をあげました。3年生は、修学旅行で班別行動を3日間行い、事前学習や判断力などの大切さを身に付けました。

さて、今月15日には、全校生徒が取り組む最初の行事として、運動会が行われました。今年のスローガンは、「つかめ! 我らの金メダル」。北京オリンピックの年にふさわしいスローガンとなり、全力で取り組む全校生徒の姿が、随所に見られました。特に、三年生のリーダーシップが、次の面で見られました。

* 走ることが得意な人は、

苦手な人を励まし、努力する姿を讃えていました



* ソーラン in SHOTOや組体操では、集団演技の素晴らしさ、一体感、統一感、躍動感を感じさせてくれました

* 地域や保護者の皆さんと共に楽しみ、盛り上げてくれました。

運動会は、学校全体にとって、とても大切な行事です。同時に、最も多くの方々が参観してくださる行事でもあります。それだけに、三年生一人ひとりが、リーダーとしての自覚を持ち、一・二年生をまとめ、運動会を成功に導いてくれたことは、大変嬉しい限りです。期待通りの活躍でした。

ところで、この運動会は、大変珍しい、地域との合同の運動会です。これまで私は、「自分たちの学校・自分たちの地域」として愛着と誇りをもってほしいということ、様々な機会に話し、学校だよりに書いてきました。この合同運動会に初めて参加した私は、正にその理念が合同運動会で実現されているという確信を持ち、校長として参加できたことを大変嬉しく思いました。



大向地区体育会との共催で始めた合同運動会は、今年が第11回目です。この合同運動会は、今後共本校の特色として大きく取り上げ、運動会以外にも更なる活動を、保護者や地域の皆さんと考えていきたいと思えます。

今年度、PTAの実行委員会では、このような学校・家庭・地域が共に子育てに関わる活動内容を検討しております。具体的な活動は、いずれご案内がありますので、ご協力をお願いいたします。

暑い中、ありがとうございました!

運動会終了後、校舎裏のテニスコート周辺の草取りにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

PTAの様々な活動が更に活発化している表れとして感謝し、今後に期待をしています。



「本校運動会の伝統を引き継いで」

実行委員長 濱島 浩二

私が松濤中学校に赴任して、3回目の運動会が終了いたしました。昨年までは、運動会は特別支援学級の担任として参加し、英語教育重点校として、また地域との合同開催としての運運会を勉強させていただきました。

今年は、実行委員長として運動会を運営するにあたり、「伝統」を意識して計画を立てていきました。本校の運動会は他校に類を見ない地域との合同運動会で、これが本校の特色です。現在の教育において、家庭や地域との連携が叫ばれながらも、なかなか実現できず特定の部活動や地域行事等への有志参加など、一部分での結びつきが精一杯であることが現状にあると思います。

しかし、本校では学校行事の中でのつながりを大切にし、すべての生徒が保護者や地域と関わりをもてる運動会を行っています。これは、本校に寄せる期待や愛着、そしてより本校生徒を見守っていこうという大人の姿勢の表れです。これこそが私の知る本校の伝統であり、今後も引き継いでいきたいと強く感じているところです。

今後も、このようなつながりを大切にし、温かい雰囲気の中での運動会を続けていけたらと考えています。最後ではありますが、ご多用の中、ご参観された保護者の皆様、そして運動会を陰で盛り上げてくださった地域の皆様には、心より御礼申し上げます。

富山移動教室の思い出

1年A組 足立 幸花里

私は不安だった。富山移動教室での三日間がどのように始まり、どのように終わるのか、本当に不安だった。初めての中学校生活が、まだ始まって約2ヶ月。お互いのことをやっと知り、クラスも落ち着いてきた。そんな私たちにまず最初の問題といえば、この富山移動教室だったに違いない。三日間一緒に食事をし、寝泊まりするのだ。お互いを深く知り合うには絶好のチャンスだ。だけど、お互いを知ったからって、決して仲良しになるとは限らない。知った分だけ仲が悪くならないように願いながら当日を迎えた。

私が心配していたのは、行動班ではなく、どちらかと言えば、部屋のグループの方だった。小学校の時は、いやないじめは女子が多く、いつも問題になっていた。私は、そのようないじめが起こるのが一番嫌だった。でも、私が考えすぎていたのか、誰かが仲間はずれになることもなく、楽しく過ごすことができた。富山移動教室で生活するにあたっての「七ヶ条」があった。その中で、今の私たちに一番要求されることは、「お互いをわかり合う」ということだと思った。富山では、三日間朝から夜まで一緒にいたけれど、それだけではお互いは解り合えない。けんかもしたり、話し合ったりしないと、解り合うことは不可能に近い。

だから、これからはみんなで共通の思い出をたくさん作りたいと思う。学校行事だけでなくみんなで遊んだり、とにかくクラス替えまでのこの一年間を貴重な時間にしたと思っている。大きく言えば、この中学校生活の三年間を、一番楽しい思い出にしたい。富山移動教室はその一生の思い出の最初の行事だと思った。

ミクロネシア交流会のお知らせ

6月26日(火)午後1時35分にミクロネシア諸島から、60名の児童・生徒が本校を訪れます。3年生と相互に授業に参加したり文化交流を行います。是非ご参観下さい

第26回「社会環境を明るくしよう渋谷区民のつどい」のお知らせ

7月5日(土)午後1時35分から、リフレッシュ氷川において、意見発表が行われます。本校から3年A組 金井 眞理さんが発表します、是非、ご参加下さい。